

平成28年度事業報告

社会福祉法人 恵和会
さざんか園小畑デイサービスセンター
小畑在宅介護支援センターさざんか園
さざんか園ホームヘルプサービス
銚子市東部地域包括支援センター

—はじめに—

平成28年度事業計画には、「2015年度4月の介護報酬改定において一番打撃の大きかったデイサービス事業であり、さらに単独のデイサービスセンターである当事業所の経営基盤・経営方針を大きく変更することは、事実上困難な状況と捉えています。」と申し上げましたが、平成28年10月より「地域包括支援センター」を受託したことにより、人員配置上大きな変革を致しました。つまり、居宅介護支援事業所の人員を地域包括支援センターに異動することが必要となり、事実上、当該事業の全体収益は減ることとなりました。

しかしながら、委託事業である「地域包括支援センター」が始動し始めたことにより、地域の町内会や任意団体、民生委員、地区社協、各事業所との連携を密に図れるようになり、より地域に周知されることで地域貢献度の高い事業所としての存在を新たにしているところであります。

そのため、当事業所の各事業の運営上のバランスを取るには今少し時間が掛かることとなりますが、そんななかでも、単独デイサービスセンターの経営・維持に取り組むべく、通常規模型デイサービスセンターとしての収益性や効率性を図るために「認知症対応型」を廃止し、その代替として「認知症ケアと同じレベルのサービス提供」が出来るよう、職員の育成に励んで参りました。具体的には、OFF-JTへの積極的参加を前提とした「キャリア形成」の取り組みに尽力した結果、多くの職員の資格取得や意識向上に繋がっていきました。

事業計画当初も、「今後の3年スパンの計画の中で、さらにはエリア（圏域）の中に特化した、より具体的なものを構築していくことと、それを単年度計画との整合性を図りながら実践していく必要があります」と書きましたが、非常に厳しい状況ではありましたが、ほぼ計画に沿った事業の推進が果たせてきたと思います。数字ありきの経営には今後も厳しい状況を余儀なくされそうですが、「社会福祉法人としての役割」を再認識しながら、新しいことに挑戦出来た年度となりました。